

1. 새 세대에 교회를 형성하자
2. 재일동포의 새로운 삶을 지향하자
3. 세계역사속에서 우리의 사명을 다하자

—宣教80周年의 歴史的 새 아침—

강한 바람같은 소리여 가득차소서

總會長 楊 炯 春

新年辭



새벽을 여는 목소리

一九八八年의 새 아침을 맞이하여 사랑하는 우리들... (Text continues with a message of hope and faith for the new year, mentioning the 80th anniversary of Christian mission in Japan and the challenges and joys of the past years.)

宣教八十周年의 해를 맞아 信仰의 遺産을 後孫에게

宣教八十周年委員長 洪 永 其



希望에 넘치는 새해를 맞아... (Text discusses the legacy of faith and the challenges of the past, emphasizing the need to pass on the faith to future generations. It mentions the 80th anniversary of the Christian mission in Japan and the role of the church in society.)



謹賀新年

關東地方會

三沢 傳道所

仙台 傳道所

水戸開拓傳道所

浦和 傳道所

船橋 傳道所

西新井 傳道所

東京 傳道所

品川 傳道所

東京第一教會

東京信濃町教會

川崎 傳道所

名譽長老 李金重

名譽長老 金聖鴻

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

名譽長老 金重

度植河夏會 元熙元會 得喆會 重會 寶昇漢洽和炳岳澤植台會 休弼會 仁鎬會 世所夫會 福所主會 健會

總務報告

宣教九十年을
向한課題와展望

總會總務 李 大 京

(1)百教會設立繼續推進

一九九三年까지 百教會設立은 어려움이 있었으나 생 각됩니다만 繼續해서 推進 해 가야하며, 現在 未自立 教會로 하여금 自立할수있 도록 最大의 努力을 경주 해야할것입니다. 未自立教會 가 年次計畵를 세워서 總 會 補助를 점차적으로 줄 이는 方向으로 檢討되어야 할것입니다.

宣教師 入国不許를 계기 로 앞으로는 宣教師에 대 한 期待를 止揚하고 ①關 西・東京兩神學院에서 배 출 되는 宣道者와 ②現在 各 神學校에서 修學하는 神學 生을 自体内에서 開拓地로 派遣하여(金曜・月曜) 禮拜 和 宣道를 하게하며 ③既 成教會 牧役者들의 共同牧 會를 통해서 이運動이 推 進되고 展開되어야 할것입 니다.

(2)人材養成

①앞으로 젊은人材를 海 外로 보내어 視野와 學問 을 넓히도록 해야할것이며 JNAC教會를 통해서 이 를 推進하겠으며 特別 카 나다長老教會가 繼續 人材 養成에 協力할것을 約束했 으며 牧役者에 局限하지 않 고 一般信徒中에서 有能한 人材를 선발하여 養成해갈 方針입니다.

②人材養成은 海外留學을 통해서도 養成되지만 自體 内에서 訓練과 教育을 통 한 養成도 可能하리라 생 각됩니다. 總會專門委員會 에 새로운 世代가 점차적으 로 參加하여 先輩들의 指導 밑 에서 神學教育을 더욱하고 學定立과 宣敎的인 課題들 을 繼承해 가야할

(3)教會教育 展望

在日大韓基督敎會總會의 將 來를 左右하는 新世代의 敎 育은 死活的 問題라고 할 수있을만큼 重要한 時期에 至하고 있습니다. 敎會内에서 民 族敎育은 重要한 位置를 차 지하고 생각됩니다만 現 時點에서 時急한것은 聖書 敎育을 통하여 바람직한 形 成되어 在日同胞社會에 밝 은 展望을 주며, 앞으로 새 世代的 敎會形成은 禮拜와 敎育에 있어서 用語問題가 重要하리라 생각됩니다. 韓國國民으로서 물론 우리 말을 使用하는것이 바람직 하지만 現實적으로 어려운 實情이므로 日常語의 使用 이 不可避하지않은가 생각 됩니다. 우리敎會가 九十年 代를 向해서 이問題에 對 해서 研究檢討해야 하리라 믿습니다.

(4)九一年問題에대한 對策

日本이 世界第二次 大戰 後에서 敗戰後 거의 半世 紀가 되어가는 現在까지 在 日同胞는 法的, 行政的, 社 會의 差別속에 억눌려살고 있습니다.

특히 外國人登錄法은 日 本國회가 立法化한 在日同 胞에 대한 民族差別法이며 一九六五年 韓日兩 국가批

宣教八十周年記念式

十月十日로 決定

宣敎八十周年實行委員會 (委員長 洪永其)가 十二 月二十二日 武庫川敎會에 열 려다.

實行委員會는 各部의 計 畵와 作業의 進行을 再確 認하고 四月末까지 모든 作 業을 完了하도록 했다. 同 委員會는 顧問에 長老會의 要請대로 金在述, 俞錫濬, 李先祚, 權泰岳四長老를 주 대기로 하고 面報・映面部 는 面報만 만들기로 했다.

八十周年 記念集會는 十 月十日(月) 大阪에서 하 기 로 하고, 台灣敎會 代表도 招請키로하였다. 招請對象中 日本NCC 2名, 民団地方 本部 代表도 招請키로 하 였다.

宣敎八十周年을 全敎會가 하나되어 記念하기위해 三 月六日(日) 主日を 統一說 敎主日로 定하고 福音新聞

宣敎八十周年을 全敎會가 하나되어 記念하기위해 三

月六日(日) 主日を 統一說

敎主日로 定하고 福音新聞

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

을 繼承해 가야할

가 安定된 生活을 當面할 수있도록 모든 不条理와 싸 우는것 역시 우리敎會에 주 어진 使命인줄로 믿습니다.

(5)敎役者 最低生活 保障

六十七敎會中에서 未自立 敎會는 十七個敎會이며 여 기서 敎會하며 宣道하고계 신 敎役者의 生活은 大단 히 어려운 形便에 있습니 다. 生活費, 子女敎育費가 基 準에 未達하므로 本人의 生 活이 困難한것도 事實이나 敎會의 發展과 宣道에 큰 支障을 가져오는것은 심각 한 問題입니다. 어느程度의 生活이 保障되기 위해서는 根本的인 對策이 마련되어 야 할것입니다.

以上 宣敎九十周年을 向 한 展望을 간략하게 말씀 드렸습니다. ①百教會 繼續 推進 ②人材養成 ③敎會敎 育

育 절차 ④敎役者 最低生 活 保障等입니다.

이를 뒷받침하기 위해서 이번 第三十九回總會에 總 會財政確立을 위해서 財政 局에서는 여러모로 檢討한 結果, 새로운 財政 確立案 (子算案別紙)을 마련하여 提案하였읍니다. 단 앞으로 總會의 補助를 받을 未自 立敎會가 점차적으로 自立 할수있도록 모색해야 할것 이며 總會도 補助 年限을 定하여서 自立할수 있도록 指導해야 할것입니다.

끝으로 이財政確立이 成 案되어 總會宣敎政策에 부 응할수있도록 바라오며, 總 代여러분의 平安과 全國聖 徒들의 平安을 祈願하면서 總務報告를 마치겠습니다.

諸職訓練の手引書 ②

諸職と奉仕

尹 宗 銀 牧師(横浜敎會)

理者として忠誠을盡して仕え たので神はその家を祝福され た。 諸職たらが神の家である 敎會で忠誠을盡して奉仕する ならば, 그敎會は自ら成長 し, 神の恵みが共にされるこ とはまちがいない。

諸職たらが奉仕するに當つ て, 第一に神の國の擴張と敎 會の成長に焦點を合わせるよ う努力せねばならない。 諸職 たらによつて神が崇められ, 敎會が健全に成長されること が諸職の奉仕する目的である。 第二に奉仕するに當つて, 諸職の時間と精力と物質と最 後はその感情までも犠牲を払 う覚悟がなければならぬ。 犠牲が伴わない奉仕は本當の 奉仕とは言えない。

第三に奉仕には最後まで耐 え忍ぶ忍耐力が必要である。 敎會の働きに携わる場合にと きとき訓練もあり, 非難もあ り, また誤解もある。 しかし それにもかかわらず敎會に仕 えようとする覚悟と, 最後ま で仕えようという忍耐力なしに は敎會で奉仕者にはなれない。

(1) 禮拜の奉仕者

諸職とはキリストのからだ なる敎會に仕えるために召さ れた管理職である。 ペテロは それゆえに, あなたがたはそ れぞれ, 賜物を授けられている のですから, 神のさまざまな 恵みの善い管理者として, そ の賜物を生かして互いに仕え なさい(ペテロ第一・四・十) と言っている。 この聖句が明 確に示しているように諸職は 善い管理者であるから神から 委託された賜物(カリスマ) を正しく活用すべき責任があ る。 神から委託された賜物と は何であらうか。 それは各自 に与えられた才能, 學識, 財 宝, 時間, 能力, 健康なども 言える。 それらの賜物を充 分に活用しないと, タラント のたとえ話(マタイ二五・十 四・三十)の中に, 一タラン ト預かった僕のように主イエ スに叱られることになる。 旧約聖書創世記の記事の中 にヨセフはエジプト人ボテイ フアル家の管理人として仕え るその日から, その家があら ゆる面で繁榮され, ヨセフの ゆえに神から祝福された(創 三九・一・六)とある。 ヨセ フはボテイフアル家の善い管

牧師はある限りの誠意を尽し て準備をするのであるが, そ ような誠意を込めた禮拜をさ げするために, その過程を補 佐する務めを諸職のうち禮拜 委員たちは心を正して担わね ばならない。

① 祈禱担当者

神禮拜の精神はいつでもそ の形式やプログラムよりも禮 拜者の心がもっと重要である。 その禮拜の心が正しく準備さ れていれば, 禮拜形式やプロ グラムは多少不規則であり, そぐわない面があつたとして もそれは容認されるものと思 う。 また主日の公同禮拜にお いて長老の祈禱が妥當かどう かという理論があることはあ るが現在在日大韓基督敎會總 會内の諸敎會では公同禮拜の プログラムの中に大體長老の 祈禱が入っている。 イエスの たとえ話の中にバリスヤ派の 人と取税人のたとえ話に, 取 税人の祈りは哀願と告白だけ に重きを置いていたがゆえに 禮拜での祈禱としては不全で あると批判されるであろうが 實際の面ではイエスはバリス ヤ人の祈りよりも取税人の祈 りをほめていた。 禮拜での祈 りが説教であつてはならない。 ある人は普段は言えないこと を祈禱という特徴を借りて自 分のうつつぶを晴らすような 祈り方をする場合もある。 し かしそれは, 禮拜が何んであ るかを全く認識しないゆえで ある。 公同禮拜での祈りは常 に聖靈の恵みと, イエス・キ リストの十字架のあがないと 神の救いに対する感謝を忘れ てはならない。 會衆全体の関 心事を完全に把握することは 不可能である。 しかし表現に 美辭麗句を並べなくてもよい から準備ある祈りが必要であ る。

禮拜での祈りは個人的であ ると同時に公衆的であり, 會 衆の交わりの中でささげられ ることが望ましい。 そして長 くても五分以内にすませべき である。

謹賀新年

調 布 教 會										橫 濱 教 會										橫 濱 教 會										靜 岡 教 會										豊 橋 教 會										岡 崎 教 會										名 古 屋 教 會										岐 阜 教 會										大 垣 教 會										桑 名 教 會										京 都 南 部 教 會										關 西 地 方 會																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
牧 師 姜 榮										牧 師 宗 伯 銀										牧 師 尹 連 永										牧 師 鄭 煥										牧 師 李 聖										牧 師 金 仁										牧 師 金 承										牧 師 黃 義										牧 師 趙 政										牧 師 朴 元										牧 師 徐 光										牧 師 李 建										牧 師 張 鐘										牧 師 金 再 桂										牧 師 徐 永										牧 師 金 昌										牧 師 金 德										牧 師 崔 忠										牧 師 金 晚										牧 師 金 秀										牧 師 金 植										牧 師 金 植																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長 隱 退 老										長									

と設節と新年を迎えて

朴 憲

郁 牧師(在独)

あの暗い夜、主イエスの誕生に秘められ、この世から隠された神の知恵を知った者たちの喜びが天に満ちることを。日本を離れ、早くも雪の降る遠くの地で心から願う者の一人として、在日大韓教会の主にある兄弟姉妹に心からクリスマスのごあいさつを送りつつ、私のわずかながらの在独生活経験の一端を分かち合っていたら、ここにペンを取りました。

◆ ◆ ◆

「ドイツ教会事情」断片

「西ドイツ福音主義(EPD)ロテスタント」教会(EKD)の将来」ということが不安な教会員(脱退)減少に直面して大変深刻なテーマになっている。昨年EKDが出版して過を巻き起こした研究報告書「キリスト者存在を形づくる(Christen gestalten)」によれば、「二〇三〇年にドイツプロテスタント教会はからうじて今日の教会員の半分を維持するであろう」と政治学・社会学の社会分析の助けを借りて報告している。この研究書が同時に最新の学問的・神学への粗雑な批判を暗に含んでいることは興味深い。批判を含めたこの研究を受けて立つて、今秋デュッセルゲン大学からミュンスター大学に移って教鞭を執っている一組織神学者が強力な反批判文書、「方向性のない教会?」をある土曜日の夕、フランクフルトで公表した。

「神学的方向づけの欠如した誤った警告主義や非現実的な破局的風潮は、教会危機からの打開策模索に役立たないし、着実な大学神学の諸要請とも相いれない。EKD研究書は教会を袋小、導く誤りを犯しており、神学的にこうした折、つ、ロテユ

二、教会衰亡、その他

他のアジア諸国民と異なつて、韓国人は外国に住んだらまず教会をつくらなければならない、ここにテュービンゲンで見ごとに実現している。かつて鉅夫、看護婦として、そして最近では留学生としてこの国に住んでいる韓国人は、たいていの中大都市でいくつもの礼拝集会をもっている。幸いテュービンゲン韓国人教会が、韓独両教会の協力関係の中で派遣された一韓国人牧師の労苦の奉仕と、異文化の中でお互いの重荷を担い合う主の兄弟姉妹によって、超教派の一つの教会を形成し、更に近隣の四つの地域の韓国人教会と共に一つの合同教会を成している。日本で生まれ育ったアイアスボラ韓国人として私は、同じくドイツという異質文化に適応しようと努めている本國からの韓国人との出会いと交わりを通して言語を始め多くの経験と洞察を、私の家族(現在日本在住)と共に得ることができた。この数年間激しく揺れ動いた韓国内での民主化及びその中の福音化過程と平行して、奇妙にも何かその縮小版のようなものを私はこの教会の成長過程の葛藤の中に感じとる。その時間に週末ごとの聖歌隊指揮と依頼による定期的な近隣の一教会礼拝説教という私の小さな奉仕が、それなりに教会自立に役立てたことを、そしてそのことによって私の神学研鑽が小さい一つ一つの教会に仕えるためのものであることをいつも認識させてくれたことをうれしく思う。今年の夏と秋に在独韓国人教会協議会主催の研修会及び青年夏期修養会で、海外韓国人教会青少年の教会活動・教育(特に二文化間的人格形成とキリスト教教育の意義)についての講師に招かれ、在日大韓教会の歴史(韓日間)と今日の状況・展望を私なりに把握して語る事が許され、討論し合うことができた。

謹賀新年

西宮教会		川西教会		宝塚伝道所		神戸東部教会		姫路・高砂伝道所		明石教会		水島教会		岡山教会		新居浜教会		広島教会		三次教会		宇部地方会		下関教会		小倉教会	
長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老	長牧	老
朱金	徹得	方文	樂泰	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛	李金	辛
中三	會	善實	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會	燦國	會

折尾教会		福岡教会		福岡中央教会		熊本教会		佐世保伝道所		沖繩教会		宮崎開拓伝道所		鹿児島開拓伝道所		総会事務局		在日韓国基督教會館		在日韓国問題研究所		在日本韓国YMCA	
名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧	名譽長老	牧
李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文
錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會

謹賀新年

一九八八年元旦

福音新聞社

總会各機關關係団体

折尾教会	福岡教会	福岡中央教会	熊本教会	佐世保伝道所	沖繩教会	宮崎開拓伝道所	鹿児島開拓伝道所	総会事務局	在日韓国基督教會館	在日韓国問題研究所	在日本韓国YMCA
名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老	名譽長老
李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文	李鳳根	文
錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會	錫秀	會